

みらいしんきん Report

景気動向調査のまとめ

調査期間 2022年1月～3月

大分みらい信用金庫では、3ヶ月毎に「中小企業景気動向調査」を実施しています。

株価と為替の動き



調査内容

2022年1～3月期の業況/2022年4～6月期の業況予想

今回の調査実施時期

2022年3月上旬

調査先数

大分市・別府市・中津市・宇佐市・豊後高田市・由布市・日出町・福岡県築上郡(事業所215先)

調査先業種内訳

製造業	31先	小売業	60先
卸売業	25先	サービス業	59先
建設業	23先	不動産業	17先

調査方法

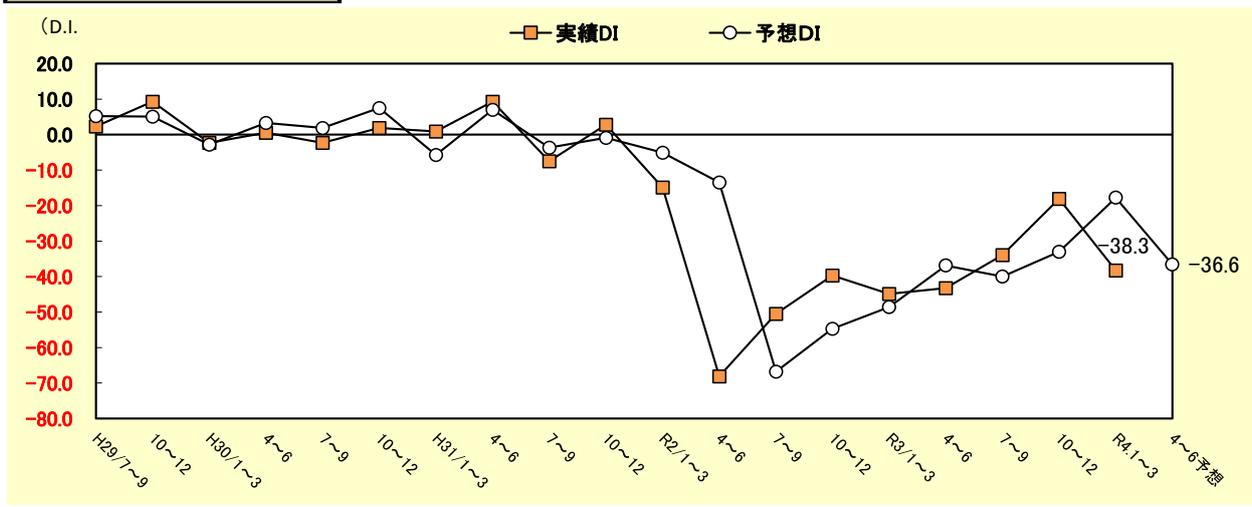
面接・聞き取りによる感触調査

分析方法

各質問項目で、「増加」(上昇)したとする事業所の全体に占める割合と、「減少」(下降)したとする事業所の割合との差(判断DI)で分析しています。

県内経済概況

業況判断・実績DI/予想DI値推移



業種別天気図

表の見方



	1~3月期実績				4~6月期予想			
	総合	別府	大分	県北	総合	別府	大分	県北
総合	▲38.3	▲50.0	▲28.6	▲32.5	▲36.6	▲41.1	▲33.3	▲33.3
製造業	▲40.0	▲53.3	▲40.0	▲20.0	▲40.0	▲46.6	▲60.0	▲20.0
小売業	▲38.3	▲57.6	▲15.3	▲50.0	▲30.0	▲38.4	▲15.3	▲50.0
卸売業	▲48.0	▲44.4	▲50.0	▲50.0	▲48.0	▲55.5	▲40.0	▲50.0
サービス業	▲53.3	▲64.2	▲42.8	▲50.0	▲46.6	▲50.0	▲46.4	▲25.0
建設業	▲9.0	0.0	▲11.1	▲12.5	▲19.0	0.0	▲22.2	▲28.5
不動産業	▲5.8	0.0	0.0	▲25.0	▲23.5	▲14.2	▲33.3	▲25.0

1月~3月の県内経済概況

2022年1月~3月の調査地域全域における企業の景況感を示す総合業況DIは▲38.3となり、前期比20.2ポイント下降となっています。

業種別の状況を見ると、製造業は▲40.0となり、前期比17.5ポイント下降、小売業は▲38.3となり、前期比15.0ポイント下降、卸売業は▲48.0となり、前期比8.0ポイント下降、サービス業は▲53.3となり、前期比33.3ポイント下降、建設業は▲9.0となり、前期比22.6ポイント下降、不動産業は▲5.8となり、前期比11.6ポイント下降となっています。

地域別では、別府市が▲50.0となり、前期比23.6ポイント下降、大分地区が▲28.6となり、前期比17.9ポイント下降、県北地区が▲32.5となり、前期比17.5ポイント下降となっています。

業種別景況

製造業

● 当期(1月～3月)の景況

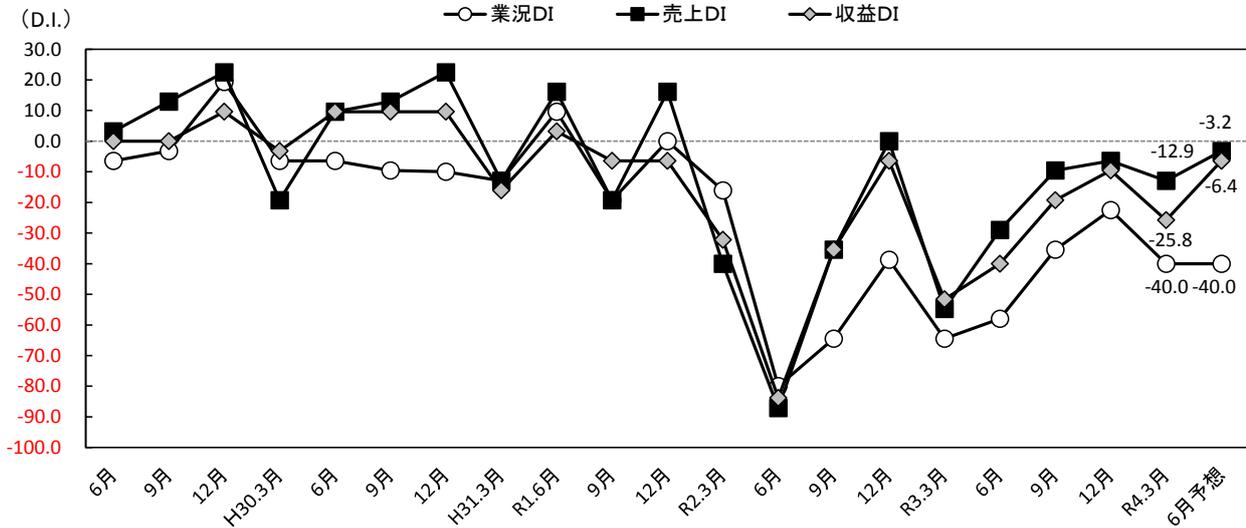
全域における業況DIは▲40.0となり、前期比17.5ポイント下降、前年同期比24.5ポイント上昇となっています。売上DIは▲12.9となり、前期比6.5ポイント下降、前年同期比41.9ポイント上昇となっています。収益DIは▲25.8となり、前期比16.2ポイント下降、前年同期比25.8ポイント上昇となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が▲53.3となり、前期比22.1ポイント下降、前年同期比27.9ポイント上昇、大分地区が▲40.0となり、前期と同水準、前年同期比20.0ポイント上昇、県北地区が▲20.0となり、前期比20.0ポイント下降、前年同期比20.0ポイント上昇となっています。

● 来期(4月～6月)の見通し

全域における業況予想DIは▲40.0となり、今期と同水準となっています。売上予想DIは▲3.2となり、今期比9.7ポイント上昇となっています。収益予想DIは▲6.4となり、今期比19.4ポイント上昇となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が▲46.6、大分地区が▲60.0、県北地区が▲20.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

売上停滞・減少	19.6%
原材料高	18.1%
利幅の縮小	12.1%
同業者間の競争激化	10.6%
工場・機械の狭小・老朽化	10.6%

最重要経営施策

販路拡大	29.6%
経費節減	22.2%
情報力強化	9.2%
新製品・技術開発	7.4%
人材確保	7.4%

経営者のみなさまの主なコメント

- ・毎年1月～3月は売上増加するので資金繰りは安定すると思われる。
- ・コロナウィルスの影響により事業縮小や工場売却に向けて動いている。
- ・受注状況は良好。
- ・新工場の稼働により売上増加。原価の高騰もあるが利益確保できる見込み。

小 売 業

● 当期(1月～3月)の景況

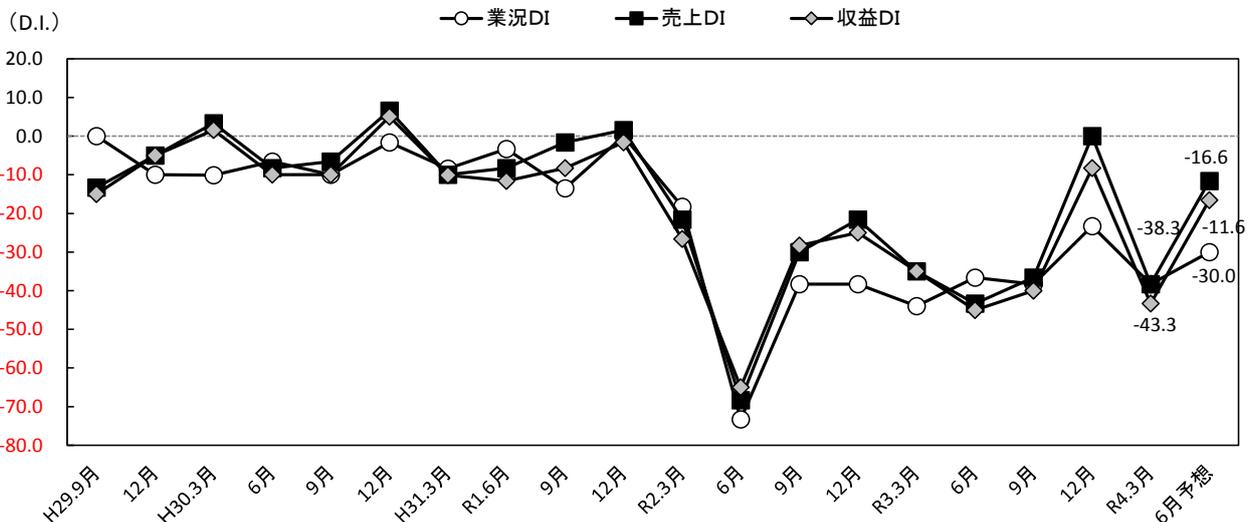
全域における業況DIは▲38.3となり、前期比15.0ポイント下降、前年同期比5.7ポイント上昇となっています。売上DIは▲38.3となり、前期比38.3ポイント下降、前年同期比3.3ポイント下降となっています。収益DIは▲43.3となり、前期比35.0ポイント下降、前年同期比8.3ポイント下降となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が▲57.6となり、前期比19.2ポイント下降、前年同期比15.4ポイント上昇、大分地区が▲15.3となり、前期比11.5ポイント下降、前年同期比8.7ポイント上昇、県北地区が▲50.0となり、前期比12.5ポイント下降、前年同期比37.5ポイント下降となっています。

● 来期(4月～6月)の見通し

全域における業況予想DIは▲30.0となり、今期比8.3ポイント上昇となっています。売上予想DIは▲11.6となり、今期比26.7ポイント上昇となっています。収益予想DIは▲16.6となり、今期比26.7ポイント上昇となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が▲38.4、大分地区が▲15.3、県北地区が▲50.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

売上停滞・減少	22.6%
大型店競争激化	15.3%
同業者間の競争激化	13.1%
仕入先からの値上要請	11.6%
利幅縮小	5.8%

最重要経営施策

経費節減	80.9%
品揃え改善	42.8%
売筋商品取扱	38.0%
宣伝・広告強化	26.1%
仕入先開拓・選別	16.6%

経営者のみなさまの主なコメント

- ・特定ブランドの取り扱いが9割を占めており仕入先見直し不可。仕入単価上昇を価格転嫁できず資金繰り多忙。カタログ改訂を経て価格転嫁を試みる予定。
- ・新車の納期遅延は深刻だがメーカーの特約店として仕入れの優遇は受けており納品分を順次販売していく事で利益確保は十分可能である。
- ・大分県内、コロナ・オミクロン株の影響により、国の「まん延防止等重点措置」が実施された1月～2月までの観光客の動きが停滞し、売上が減少している。厳しい状況は続いており2月20日県内で「まん防」解除後も全国のコロナ陽性者の高止まりにより変化ない。
- ・コロナ禍の影響により、客足は鈍く売り上げは停滞している。売り上げをどう伸ばすかよりも、経費をどう節減していくかを熟考している。
- ・電子書籍の普及により売上はここ数年に渡って減少傾向である。永年取引先への納品にて売上を確保している。
- ・永年取引先である旅館・葬祭場からの注文が、コロナウイルスの影響で減少している。
- ・コロナの影響もあるが、主な取引先は旅館・ホテル等でないため、売上は確保している。
- ・原油価格の高騰を受け、輸入品精肉の仕入値が上昇、取引先と仕入値の折り合いをつけるために交渉中。ホテル・飲食関連が戻れば売上回復の見込みもある。

卸 売 業

● 当期(1月～3月)の景況

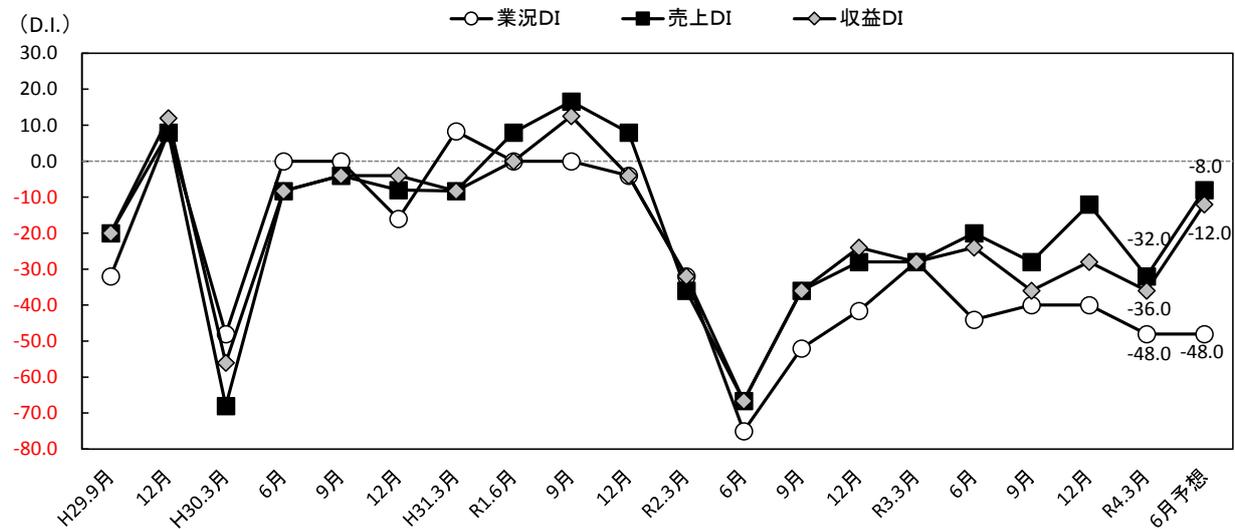
全域における業況DIは▲48.0となり、前期比8.0ポイント下降、前年同期比20.0ポイント下降となっています。売上DIは▲32.0となり、前期比20.0ポイント下降、前年同期比4.0ポイント下降となっています。収益DIは▲36.0となり、前期比8.0ポイント下降、前年同期比8.0ポイント下降となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が▲44.4となり、前期と同水準、前年同期比22.2ポイント下降、大分地区が▲50.0となり、前期と同水準、前年同期比10.0ポイント下降、県北地区が▲50.0となり、前期比33.4ポイント下降、前年同期比33.4ポイント下降となっています。

● 来期(4月～6月)の見通し

全域における業況予想DIは▲48.0となり、今期と同水準となっています。売上予想DIは▲8.0となり、今期比24.0ポイント上昇となっています。収益予想DIは▲12.0となり、今期比24.0ポイント上昇となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が▲55.5、大分地区が▲40.0、県北地区が▲50.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

売上停滞・減少	26.4%
利幅縮小	18.8%
取引先減少	13.2%
同業者間の競争激化	7.5%
仕入先からの値上要請	7.5%

最重要経営施策

経費節減	38.0%
販路拡大	23.8%
情報力強化	16.6%
特になし	7.1%
提携先探す	7.1%

経営者のみなさまの主なコメント

- ・卸先の業況が不芳であり売上が上がり難い。原価の高騰もあり在庫管理も苦慮。日次決算を実施して都度計数を管理しながら現状打破していきたい。
- ・仕入野菜価格が非常に値上がりしている。「たまねぎ・じゃがいも」が200%上昇さらに小ぶりである。
- ・新型コロナウイルスの影響により昨年より釣り需要があがった。そのため、当先の受注も昨年より増加傾向にある。
- ・長引くコロナ禍により気力を失いつつある。政府の政策に期待したい。

サービス業

● 当期(1月～3月)の景況

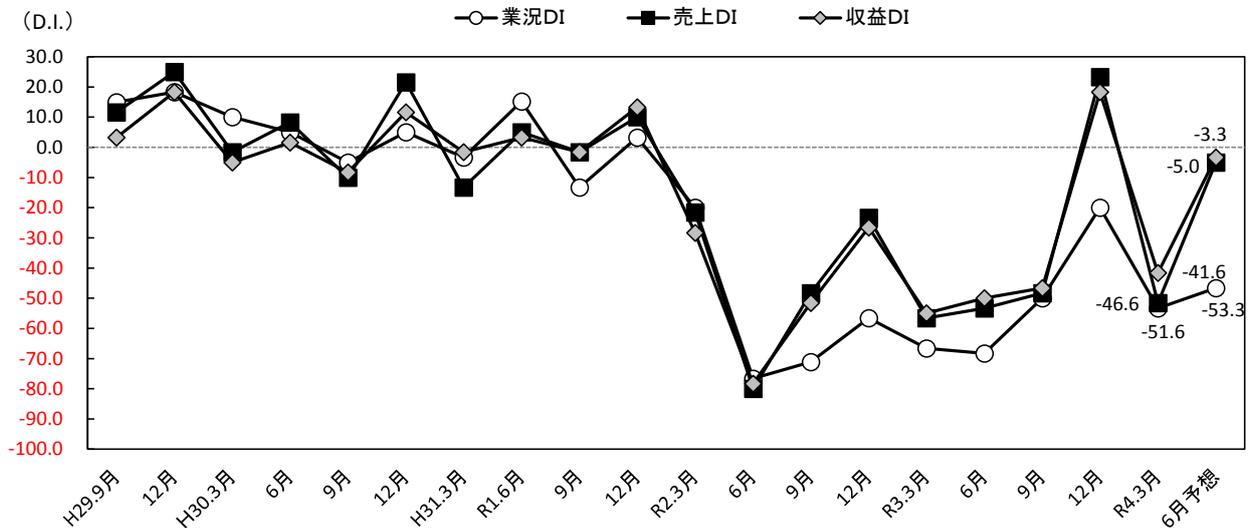
全域における業況DIは▲53.3となり、前期比33.3ポイント下降、前年同期比13.3ポイント上昇となっています。売上DIは▲51.6となり、前期比74.9ポイント下降、前年同期比5.0ポイント上昇となっています。収益DIは▲41.6となり、前期比59.9ポイント下降、前年同期比13.4ポイント上昇となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が▲64.2となり、前期比39.2ポイント下降、前年同期比21.5ポイント上昇、大分地区が▲42.8となり、前期比35.7ポイント下降、前年同期比3.6ポイント上昇、県北地区が▲50.0となり、前期比25.0ポイント上昇、前年同期比25.0ポイント上昇となっています。

● 来期(4月～6月)の見通し

全域における業況予想DIは▲46.6となり、今期比6.7ポイント上昇となっています。売上予想DIは▲5.0となり、今期比46.6ポイント上昇となっています。収益予想DIは▲3.3となり、今期比38.3ポイント上昇となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が▲50.0、大分地区が▲46.4、県北地区が▲25.0となっています。



経営上の問題点

売上停滞・減少	32.7%
同業者間の競争激化	13.2%
人手不足	9.7%
材料価格の上昇	7.9%
利幅縮小	7.0%

最重要経営施策

販路拡大	22.8%
経費節減	22.8%
宣伝・広告強化	15.2%
人材確保	8.4%
提携先探す	7.6%

経営者のみなさまの主なコメント

- ・昨年はGOTOトラベルの影響により大幅な売上増加であったが、今期は新型コロナウイルスの再度の感染拡大の影響により減収となった。
- ・新型コロナウイルスの再度の感染拡大により売上は減少傾向。ただし、ドライブスルーがあり、ドライブスルーは好調である。
- ・飲食業であり、材料価格高騰しているが、販売価格に反映させないよう努力している。
- ・後継者いないが、身体が元気な内は続けたい。事業拡大や経費削減について考えておらず現状維持に努める。
- ・コロナの影響で売上高の減少が続いている。更に原材料・仕入価格の高騰も影響が大きい。
- ・家族で経営しており、改装や仕入先の見直し等は検討しない。
- ・半導体不足による新車販売の減少が見られる。
- ・コロナ禍の影響はまだ強く、業況回復の見通しは不透明。
- ・ひとりで事業を営んでおり今後も小規模な形態で運営して行く予定。
- ・新型コロナウイルスが終息すると売上の回復が見込まれる。既存の固定客が根強く残っている為、資金繰りは問題ない。
- ・ほぼ原価のかからない商売であり、原材料・仕入価格の上昇は影響ない。売上は新型コロナウイルスが終息すれば問題ない。

建設業

● 当期(1月～3月)の景況

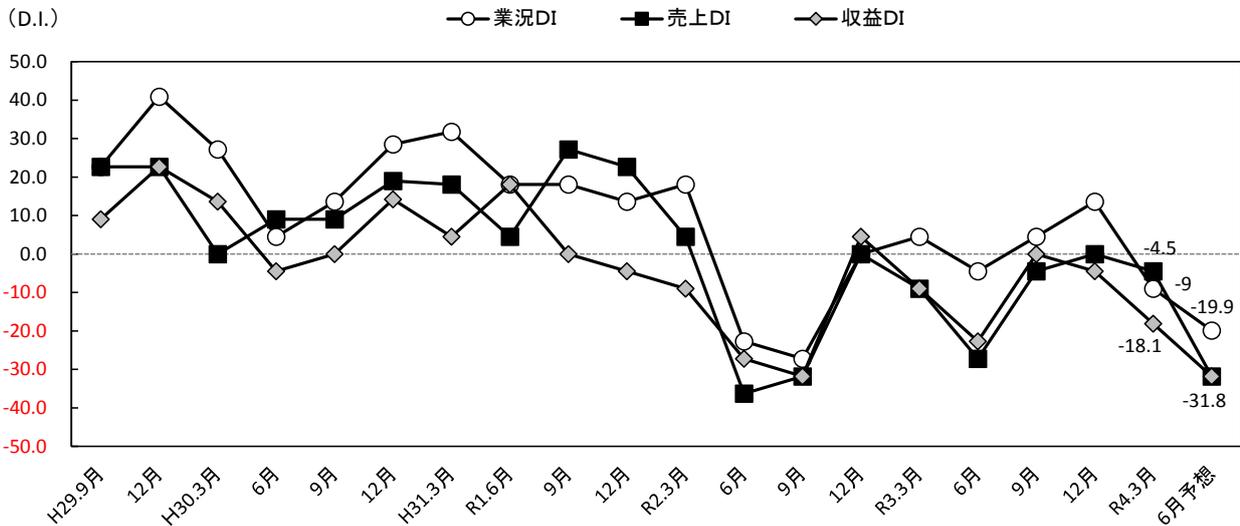
全域における業況DIは▲9.0となり、前期比22.6ポイント下降、前年同期比13.5ポイント下降となっています。売上DIは▲4.5となり、前期比4.5ポイント下降、前年同期比4.5ポイント上昇となっています。収益DIは▲18.1となり、前期比13.6ポイント下降、前年同期比9.1ポイント下降となっています

地域別の業況DIでは、別府地区が0.0となり、前期比20.0ポイント下降、前年同期比20.0ポイント下降、大分地区が▲11.1となり、前期比11.1ポイント下降、前年同期比11.1ポイント下降、県北地区が▲12.5となり、前期比37.5ポイント下降、前年同期比12.5ポイント下降となっています。

● 来期(4月～6月)の見通し

全域における業況予想DIは▲19.0となり、今期比10.0ポイント下降となっています。売上予想DIは▲31.8となり、今期比27.3ポイント下降となっています。収益予想DIは▲31.8となり、今期比13.7ポイント下降となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が0.0、大分地区が▲22.2、県北地区が▲28.5となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

材料価格の上昇	30.7%
同業者間の競争激化	15.3%
人手不足	15.3%
利幅縮小	11.5%
売上停滞・減少	5.7%

最重要経営施策

経費節減	18.3%
人材確保	14.2%
販路拡大	12.2%
情報力強化	12.2%
技術力向上	10.2%

経営者のみなさまの主なコメント

- ・材料費高騰を危惧している。
- ・公共工事が主であり、受注は安定している。
- ・ウッドショックにより木材の高騰が発生、仕入れ価格が大幅に増加した。
- ・新型コロナウイルスの影響により、売上は減少傾向である。
- ・業況は例年通り横ばいで推移。原材料の上昇は、多少の影響はあるものの経営そのものを大きく揺るがすほどではない。

不動産業

● 当期(1月～3月)の景況

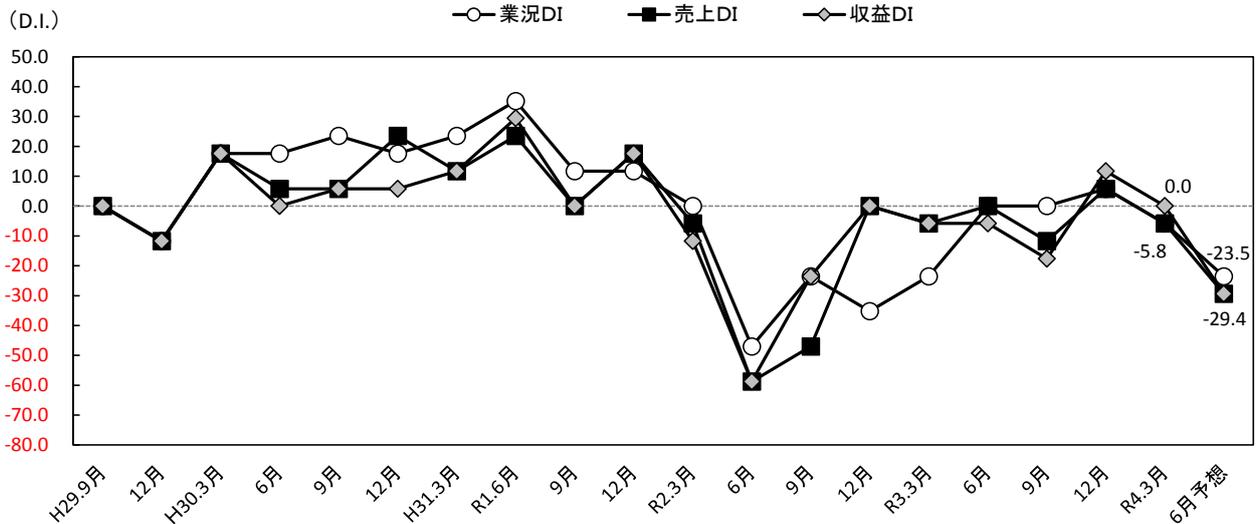
全域における業況DIは▲5.8となり、前期比11.6ポイント下降、前年同期比17.7ポイント上昇となっています。売上DIは▲5.8となり、前期比11.6ポイント下降、前年同期と同水準となっています。収益DIは0.0となり、前期比11.7ポイント下降、前年同期比5.8ポイント上昇となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が0.0となり、前期比14.2ポイント下降、前年同期比28.5ポイント上昇、大分地区が0.0となり、前期比16.6ポイント下降、前年同期比16.6ポイント上昇、県北地区が▲25.0となり、前期と同水準、前年同期と同水準となっています。

● 来期(4月～6月)の見通し

全域における業況予想DIは▲23.5となり、今期比17.7ポイント下降となっています。売上予想DIは▲29.4となり、今期比23.6ポイント下降となっています。収益予想DIは▲29.4となり、今期比29.4ポイント下降となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が▲14.2、大分地区が▲33.3、県北地区が▲25.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

同業者間の競争激化	23.0%
商品物件不足	19.2%
商品物件高騰	15.3%
利幅縮小	11.5%
人件費増加	11.5%

最重要経営施策

宣伝・広告強化	25.0%
情報力強化	21.4%
販路拡大	14.2%
人材確保	14.2%
経費節減	10.7%

経営者のみなさまの主なコメント

- ・物件は高値かつ築年数の古いものが多く成約につながり難い。事業者への販売については業況低迷につき金融機関の融資審査が可決とならない先があるため売上は伸び悩んでいる。
- ・原材料費の高騰を気にしている。
- ・コロナ禍であるが、不動産の動きが活発である。また、居住系の賃貸物件の取扱数が多く、それに関しては売上安定している。
- ・収益性物件に対する需要は多いが、別府市内での絶対数が不足している。
- ・新型コロナウイルスの影響により人の動きが鈍化。2月～3月にかけての案件等も例年より少ない。
- ・在庫物件が売れ、保有している物件が少ないため、仕入れを検討しているが、なかなか良い物件が出てこない。

D I 数 値

全域合計

		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業 況	1月～3月実績	△ 38.3	△ 40.0	△ 38.3	△ 48.0	△ 53.3	△ 9.0	△ 5.8
	4月～6月予想	△ 36.6	△ 40.0	△ 30.0	△ 48.0	△ 46.6	△ 19.0	△ 23.5
売 上	1月～3月実績	△ 31.6	△ 12.9	△ 38.3	△ 32.0	△ 51.6	△ 4.5	△ 5.8
	4月～6月予想	△ 11.7	△ 3.2	△ 11.6	△ 8.0	△ 5.0	△ 31.8	△ 29.4
受注残	1月～3月実績	△ 5.7	△ 6.4	***	***	***	△ 4.5	***
	4月～6月予想	△ 13.2	△ 3.2	***	***	***	△ 27.2	***
施工高	1月～3月実績	△ 4.5	***	***	***	***	△ 4.5	***
	4月～6月予想	△ 22.7	***	***	***	***	△ 22.7	***
収 益	1月～3月実績	△ 33.5	△ 25.8	△ 43.3	△ 36.0	△ 41.6	△ 18.1	0.0
	4月～6月予想	△ 13.5	△ 6.4	△ 16.6	△ 12.0	△ 3.3	△ 31.8	△ 29.4
販売価格	1月～3月実績	9.3	12.9	21.6	4.0	5.0	△ 4.5	0.0
	4月～6月予想	9.5	3.2	18.3	4.0	11.1	4.5	0.0
仕入価格	1月～3月実績	40.5	54.8	30.0	32.0	35.0	86.3	23.5
	4月～6月予想	32.1	32.2	33.3	32.0	23.3	63.6	17.6
在庫	1月～3月実績	△ 6.5	0.0	△ 6.6	△ 16.0	***	0.0	△ 11.7
	4月～6月予想	△ 8.4	△ 6.4	△ 8.3	△ 16.0	***	0.0	△ 11.7
資金繰り	1月～3月実績	△ 19.5	△ 16.1	△ 31.6	△ 16.0	△ 18.3	△ 13.6	0.0
	4月～6月予想	△ 16.7	△ 22.5	△ 28.3	△ 12.0	△ 11.6	△ 9.0	0.0
残業時間	1月～3月実績	△ 6.5	△ 3.2	△ 1.6	△ 12.0	△ 18.3	9.5	0.0
	4月～6月予想	△ 4.7	0.0	△ 1.6	△ 12.0	△ 13.3	9.5	0.0
人手状況	1月～3月実績	△ 15.8	△ 29.0	△ 11.6	△ 12.0	△ 8.3	△ 31.8	△ 17.6
	4月～6月予想	△ 15.8	△ 22.5	△ 13.3	△ 8.0	△ 11.6	△ 31.8	△ 17.6

別府地区

		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業 況	1月～3月実績	△ 50.0	△ 53.3	△ 57.6	△ 44.4	△ 64.2	0.0	0.0
	4月～6月予想	△ 41.1	△ 46.6	△ 38.4	△ 55.5	△ 50.0	0.0	△ 14.2
売 上	1月～3月実績	△ 40.7	△ 6.2	△ 65.3	△ 33.3	△ 57.1	0.0	0.0
	4月～6月予想	△ 5.5	6.2	△ 7.6	△ 11.1	7.1	△ 40.0	△ 42.8
受注残	1月～3月実績	0.0	0.0	***	***	***	0.0	***
	4月～6月予想	0.0	0.0	***	***	***	0.0	***
施工高	1月～3月実績	20.0	***	***	***	***	20.0	***
	4月～6月予想	0.0	***	***	***	***	0.0	***
収 益	1月～3月実績	△ 38.5	△ 12.5	△ 69.2	△ 22.2	△ 50.0	0.0	14.2
	4月～6月予想	△ 5.5	6.2	△ 15.3	0.0	7.1	△ 20.0	△ 42.8
販売価格	1月～3月実績	7.7	12.5	11.5	0.0	3.5	0.0	14.2
	4月～6月予想	6.6	6.2	11.5	△ 11.1	10.7	△ 20.0	14.2
仕入価格	1月～3月実績	39.6	50.0	23.0	22.2	46.4	80.0	42.8
	4月～6月予想	25.3	31.2	19.2	11.1	21.4	80.0	28.5
在庫	1月～3月実績	△ 6.3	△ 6.2	△ 7.6	11.1	***	0.0	△ 28.5
	4月～6月予想	△ 7.9	△ 6.2	△ 7.6	0.0	***	0.0	△ 28.5
資金繰り	1月～3月実績	△ 26.4	△ 31.2	△ 50.0	0.0	△ 17.8	△ 20.0	0.0
	4月～6月予想	△ 19.8	△ 31.2	△ 38.4	0.0	△ 7.1	△ 20.0	0.0
残業時間	1月～3月実績	△ 2.2	6.2	△ 7.6	△ 11.1	△ 3.5	20.0	0.0
	4月～6月予想	△ 1.1	12.5	△ 7.6	△ 11.1	△ 3.5	20.0	0.0
人手状況	1月～3月実績	△ 9.9	△ 18.7	△ 7.6	△ 33.3	3.5	△ 40.0	0.0
	4月～6月予想	△ 12.1	△ 12.5	△ 15.3	△ 22.2	△ 3.5	△ 40.0	0.0

大分地区

		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業況	1月～3月実績	△ 28.6	△ 40.0	△ 15.3	△ 50.0	△ 42.8	△ 11.1	0.0
	4月～6月予想	△ 33.3	△ 60.0	△ 15.3	△ 40.0	△ 46.4	△ 22.2	△ 33.3
売上	1月～3月実績	△ 25.0	△ 20.0	△ 11.5	△ 20.0	△ 50.0	△ 11.1	0.0
	4月～6月予想	△ 14.5	0.0	△ 11.5	△ 10.0	△ 14.8	△ 33.3	△ 16.6
受注残	1月～3月実績	△ 21.4	△ 20.0	***	***	***	△ 22.2	***
	4月～6月予想	△ 21.4	0.0	***	***	***	△ 33.3	***
施工高	1月～3月実績	△ 22.2	***	***	***	***	△ 22.2	***
	4月～6月予想	△ 22.2	***	***	***	***	△ 22.2	***
収益	1月～3月実績	△ 27.4	△ 40.0	△ 23.0	△ 40.0	△ 35.7	△ 11.1	0.0
	4月～6月予想	△ 15.5	0.0	△ 15.3	△ 20.0	△ 10.7	△ 33.3	△ 16.6
販売価格	1月～3月実績	8.3	20.0	26.9	20.0	0.0	△ 22.2	△ 16.6
	4月～6月予想	9.5	△ 20.0	23.0	30.0	3.5	0.0	△ 16.6
仕入価格	1月～3月実績	35.7	80.0	34.6	40.0	21.4	77.7	0.0
	4月～6月予想	34.5	40.0	46.1	50.0	21.4	44.4	0.0
在庫	1月～3月実績	△ 7.1	20.0	△ 7.6	△ 30.0	***	0.0	0.0
	4月～6月予想	△ 8.9	0.0	△ 11.5	△ 20.0	***	0.0	0.0
資金繰り	1月～3月実績	△ 14.3	0.0	△ 11.5	△ 30.0	△ 21.4	0.0	0.0
	4月～6月予想	△ 13.1	△ 20.0	△ 15.3	△ 20.0	△ 17.8	11.1	0.0
残業時間	1月～3月実績	△ 11.9	△ 20.0	0.0	0.0	△ 35.7	11.1	0.0
	4月～6月予想	△ 9.0	△ 20.0	0.0	0.0	△ 25.0	11.1	0.0
人手状況	1月～3月実績	△ 19.0	△ 60.0	△ 11.5	0.0	△ 21.4	△ 33.3	△ 16.6
	4月～6月予想	△ 17.9	△ 60.0	△ 7.6	0.0	△ 21.4	△ 33.3	△ 16.6

県北地区

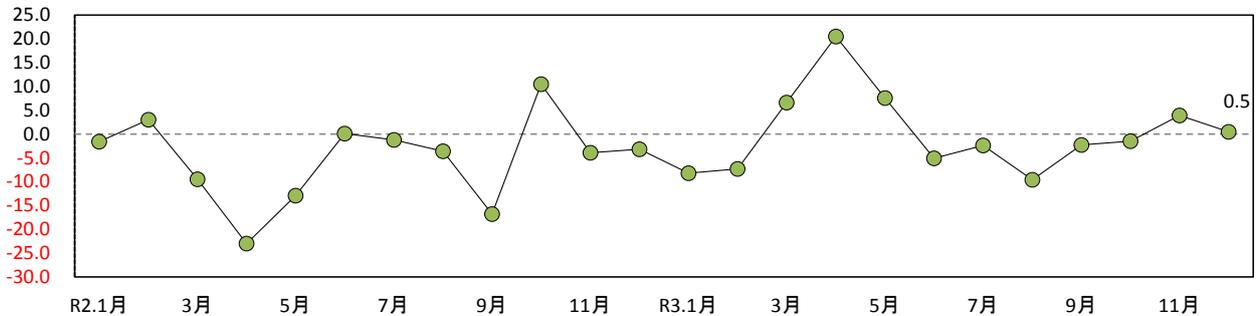
		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業況	1月～3月実績	△ 32.5	△ 20.0	△ 50.0	△ 50.0	△ 50.0	△ 12.5	△ 25.0
	4月～6月予想	△ 33.3	△ 20.0	△ 50.0	△ 50.0	△ 25.0	△ 28.5	△ 25.0
売上	1月～3月実績	△ 25.0	△ 20.0	△ 37.5	△ 50.0	△ 25.0	0.0	△ 25.0
	4月～6月予想	△ 20.0	△ 20.0	△ 25.0	0.0	△ 25.0	△ 25.0	△ 25.0
受注残	1月～3月実績	0.0	△ 10.0	***	***	***	12.5	***
	4月～6月予想	△ 22.2	△ 10.0	***	***	***	△ 37.5	***
施工高	1月～3月実績	0.0	***	***	***	***	0.0	***
	4月～6月予想	△ 37.5	***	***	***	***	△ 37.5	***
収益	1月～3月実績	△ 35.0	△ 40.0	△ 25.0	△ 50.0	△ 25.0	△ 37.5	△ 25.0
	4月～6月予想	△ 27.5	△ 30.0	△ 25.0	△ 16.6	△ 25.0	△ 37.5	△ 25.0
販売価格	1月～3月実績	15.0	10.0	37.5	△ 16.6	50.0	12.5	0.0
	4月～6月予想	15.0	10.0	25.0	△ 16.6	50.0	25.0	0.0
仕入価格	1月～3月実績	52.5	50.0	37.5	33.3	50.0	100.0	25.0
	4月～6月予想	42.5	30.0	37.5	33.3	50.0	75.0	25.0
在庫	1月～3月実績	△ 5.6	0.0	0.0	△ 33.3	***	0.0	0.0
	4月～6月予想	△ 8.3	△ 10.0	0.0	△ 33.3	***	0.0	0.0
資金繰り	1月～3月実績	△ 15.0	0.0	△ 37.5	△ 16.6	0.0	△ 25.0	0.0
	4月～6月予想	△ 17.5	△ 10.0	△ 37.5	△ 16.6	0.0	△ 25.0	0.0
残業時間	1月～3月実績	△ 5.1	△ 10.0	12.5	△ 33.3	0.0	0.0	0.0
	4月～6月予想	△ 5.1	△ 10.0	12.5	△ 33.3	0.0	0.0	0.0
人手状況	1月～3月実績	△ 22.5	△ 30.0	△ 25.0	0.0	0.0	△ 25.0	△ 50.0
	4月～6月予想	△ 20.0	△ 20.0	△ 25.0	0.0	0.0	△ 25.0	△ 50.0

県内大型小売店販売額

令和3年12月の大型小売店販売額は前年同月比0.5%増加となっています。

(%) 大型小売店販売額(前年同月比)

(店舗調整前:経済産業省)

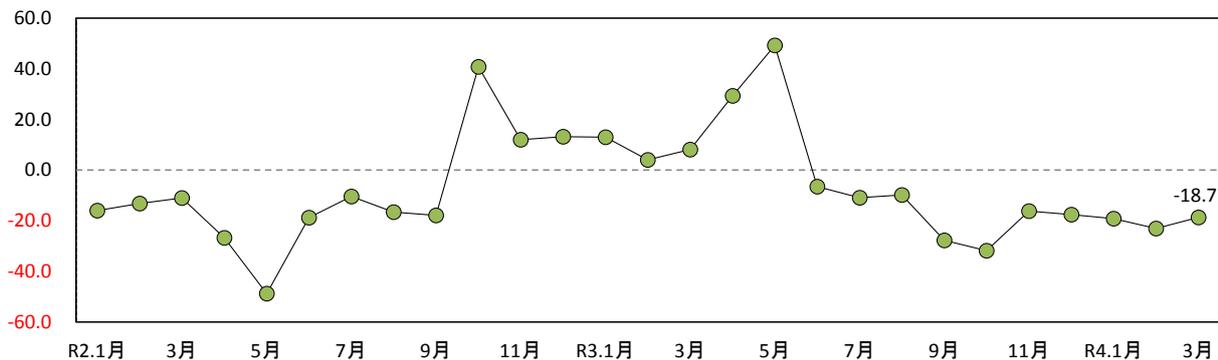


県内新車販売台数

令和4年3月の登録車と軽四輪車合計の新車販売台数(総合計)5,026台で前年同月を18.7%下回りました。車種別では、普通乗用車が1,304台で前年同月比15.6%減少、小型乗用車が1,050台で前年同月比17.1%減少となりました。また、軽四輪車の合計は2,311台で前年同月比21.6%減少となりました。

(%) 新車販売台数(前年同月比)

(日本自動車販売協会連合会大分県支部調)

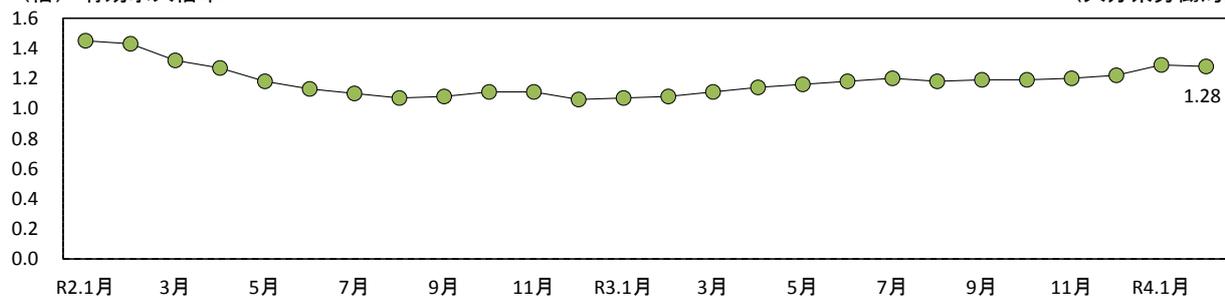


県内有効求人倍率

令和4年2月の有効求人倍率は、1.28倍(前月比▲0.01ポイント)となりました。地域別で見ると、大分管内1.55倍(前月比▲0.03ポイント)、別府管内0.84倍(前月比▲0.08ポイント)、中津管内1.65倍(前月比+0.07ポイント)となっています。

(倍) 有効求人倍率

(大分県労働局調)

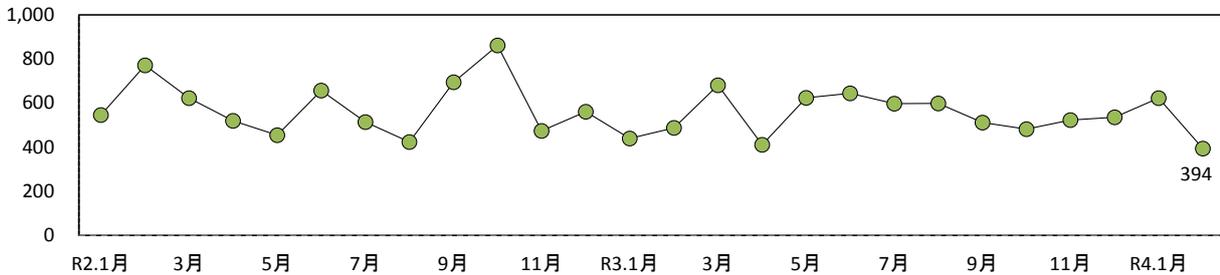


県内新設住宅着工戸数

令和4年2月の住宅着工戸数は394戸でした。そのうち、持家は166戸、貸家は79戸、分譲住宅は132戸となっています。

(戸) 大分県新設住宅着工戸数

(国土交通省調)



観光動向

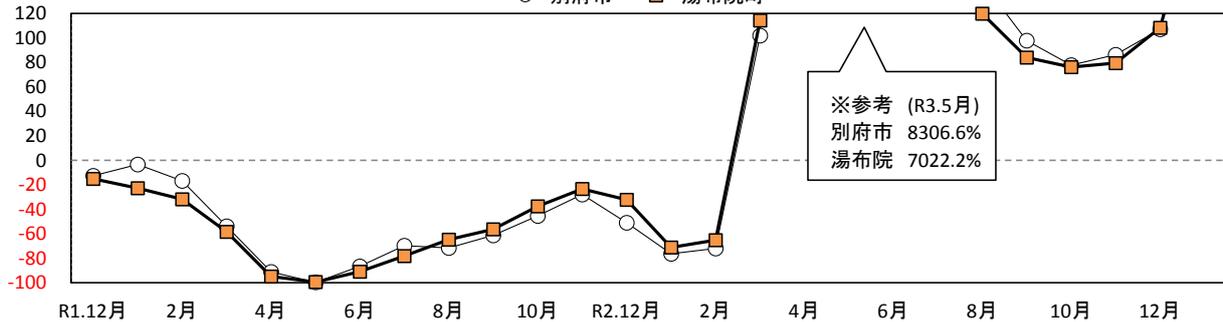
令和4年1月の宿泊人員は、前年同月比で、別府地区299.5%増加、湯布院地区237.9%増加となっています。

※令和3年4月以降の数値について、一部値が突出しており、これまでの推移が分かりにくいいため、グラフ外としています。

(%) 宿泊人員(前年同月比)

○ 別府市 □ 湯布院町

(当金庫調)



企業倒産状況

帝国データバンクの調査によると、令和4年3月の県内の企業倒産件数は6件で2,497百万円でした。令和4年の累計は12件3,763百万円となっています。

(百万円) 企業倒産

金額

● 件数 帝国データバンク調 (件数)

